

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：平成29年10月6日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：大熊長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 お待たせいたしました。ただいまから、原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○大熊総務課長 それでは、お手元の広報日程に基づきまして、私から補足説明を申し上げます。

本日は、御説明は1件でございます。資料の2ページ目、上から2件目でございます。10月11日、（5）の第3回実用発電用原子炉の安全性向上評価の継続的な改善に係る会合。この会合の開催が予定されております。

こちらの会合でございますが、新しく運用が始まりました安全性向上評価制度につきまして、その制度の運用を継続的に改善していくために、評価の内容につき議論を行ってきているというものでございます。

第3回となります今回の会合では、議題として2点挙げてございます。1点目が、九州電力株式会社川内原子力発電所1号機の評価についてということでございます。この1号機の評価につきましては、これまで2回の会合で全体概要等につき議論を行ってきたところでございますが、今回の会合では、確率論的安全評価の内容につきまして説明を聞き、議論をするという予定でございます。

また、議題の2としまして、同じく川内原子力発電所2号機の評価についてということが挙げられております。この2号機の評価につきましては、先般9月下旬に評価書が提出されたところでございまして、その全体について説明を聞く。主として1号機の評価との違いの部分に焦点を当てながら説明を聞き議論を行うということを予定してございます。

私からは以上です。

<質疑応答>

○司会 それでは、皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属と名前をおっしゃってから質問をお願いいたします。

それでは、質問のある方は手を挙げてください。

御質問はよろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

-了-